

七ヶ浜町の現況

1. 自然・歴史等

(1) 位置と地勢

本町は、宮城県の中心部仙台市の東側に位置し、周囲27.8kmで、南は太平洋、西は塩竈市、多賀城市、仙台市と接し、三方が海に面した方形に近い半島状の町である。

面積は、13.19km²(平成26年10月国土地理院修正)で県内最小の町(北海道・東北においても最小)であるが、東に遠く金華山の霊峰を望み、北東には日本三景「松島」の景勝を誇る四大観の一つに数えられる多聞山がある。

(2) 気 候

大部分の地域が海に望み海洋性気候のため、仙台市と比較し夏は2～3度涼しく、冬は暖かい。また、降水(雪)量が少なく、大変住みやすい気候となっている。



北緯38度16分45秒
東経141度2分20秒

姉妹都市：プリマス町
(アメリカ・
マサチューセッツ州)

友好の町：山形県朝日町

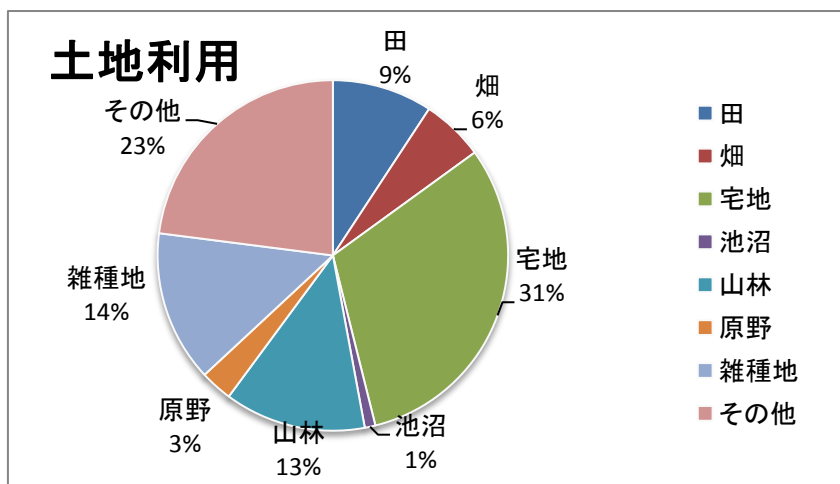
(3) 土地利用

平成29年の地目別割合をみると、31%が宅地利用されている。また、その他が23%となっており、主に学校用地や道路として利用されている。

地目別面積の推移

年	総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
11	1,327	128	82	390	13	202	48	162	302
12	1,327	127	79	388	13	198	43	177	302
13	1,327	126	80	388	13	198	43	176	303
14	1,327	125	80	389	13	198	43	176	303
15	1,327	125	81	391	13	193	42	178	304
16	1,327	125	81	391	13	193	42	178	304
17	1,327	125	81	392	13	192	42	179	303
18	1,327	125	80	391	13	191	42	182	303
19	1,327	125	80	392	12	191	42	182	303
20	1,327	125	80	392	12	191	42	181	303
21	1,327	125	80	394	13	189	42	181	303
22	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303
23	1,327	124	80	392	13	187	42	181	308
24	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303
25	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303
26	1,327	124	80	396	13	187	41	181	305
27	1,319	124	76	399	13	183	41	185	298
28	1,319	124	76	410	13	175	39	180	302
29	1,319	122	76	410	13	172	39	184	303

税務課「概要調査」第2表 各年1月1日



※平成29年分数値をグラフ化

(4)文化財・史跡

町内には、縄文時代、奈良・平安時代を中心とした49の貝塚・遺跡が所在する。なかでも大木囲貝塚は松島湾を代表する大規模な貝塚・集落跡で、昭和43年には国史跡に指定されている。指定面積は約19.7万㎡(東京ドーム約4個分)の広さを誇る。

平安時代に名神社の一つに数えられていたという鼻節神社は、陸奥国府が多賀城に所在していた頃に使われていた青銅製の古印「国府厨印」が発見されたところである。また、平安時代後半～鎌倉時代初期に彫られたとされる薬師堂磨崖仏(薬師座像)は、慈覚大師が海上の安全を祈願するために一晩で彫りあげたという言い伝えがある。

■町の主要な文化財

種別	名称	指定	指定年月日
史跡	大木囲貝塚	国	昭和43年3月18日
	湊浜薬師堂・磨崖仏・カヤの木	町	昭和56年10月1日
	鼻節神社	町	平成2年4月1日
	下がり松	町	平成2年4月1日
天然記念物	国府厨印	町	昭和46年
歴史資料	附鰐鮫頭骨及び釣針	町	平成10年8月1日
有形民俗	吉田浜獅子舞	町	昭和60年3月1日
無形民俗	建治三年銘古碑	町	平成2年4月1日

■指定史跡・天然記念物位置図

